

平成 29 年度～令和元年度特別研究
「浸水状況把握のリアルタイム化に関する研究」
に関わる成果公表リスト

【研究報告書】

- 大野裕幸・岩橋純子・中埜貴元（2018）：浸水状況のリアルタイム化に関する研究（第1年次），国土地理院平成29年度調査研究年報。
- 中埜貴元・大野裕幸・岩橋純子・遠藤涼（2019）：浸水状況のリアルタイム化に関する研究（第2年次），国土地理院平成30年度調査研究年報。
- 岩橋純子・大野裕幸・中埜貴元・遠藤涼（2020）：浸水状況のリアルタイム化に関する研究（第3年次），国土地理院令和元年度調査研究年報（予定）。

【発表論文】

（査読付き）

なし

（査読無し）

- 岩橋純子（2019）：DEM（数値標高モデル）を用いた地形量・浸水量の計測，新砂防（砂防学会誌），72(2)，43-47.
- 岩橋純子・中埜貴元・大野裕幸：洪水氾濫時の湛水量をどう計算するか？ ～浸水シミュレーションデータを用いた検証例～，国土地理院時報（印刷中）。

【学会等発表】

- 中埜貴元・岩橋純子・大野裕幸（2018）：湛水量推定にDEMの違いが及ぼす影響，2018年日本地理学会秋季学術大会。
- 岩橋純子・中埜貴元・山崎大（2018）：沖積平野の浸水脆弱性・地盤脆弱性を反映したDEM地形分類の可能性について，日本地形学連合H30年度秋季大会。
- 中埜貴元・遠藤涼・大野裕幸・岩橋純子（2019）：夜間における浸水域把握手法の検討，2019年日本地理学会秋季学術大会。
- 中埜貴元・岩橋純子・大野裕幸（2020）：河川氾濫時の湛水量の最適な計算手法の検討ー浸水シミュレーションデータを用いた検証例ー，2020年日本地理学会春季学術大会（予定）。
- NAKANO Takayuki, ENDO Ryo, OHNO Hiroyuki and IWAHASHI Junko (2020): Water area observation experiment by helicopter for extracting inundation boundary at night, XXIV International Society for Photogrammetry and Remote Sensing (ISPRS) Congress（予定）。
- 岩橋純子・大野裕幸・中埜貴元（2020）：浸水状況把握のリアルタイム化に関する研究について，2020年日本地球惑星科学連合大会（予定）。

【その他】

なし